

喫煙環境施策についてのお伺い

●●●●●党

代表 ●●●● 様

喫煙者の一人として、喫煙環境に関わる施策についてお伺い申し上げます。

「我が国では、喫煙を原因とする死者が毎年 10 万人以上」一。厚生労働省や財務省などは、喫煙規制の象徴的な根拠として、このような“データ”を挙げています。

私は、これを信じがたい説と捉えていました。人命を第一義とする立法府が先の数字を事実として認識しているのであれば、タバコ税の増税、禁煙外来設置推進などの施策は論外で、最優先でタバコを「禁制品」としているはずで、販売禁止で生じる問題は、お金と法律で容易に解決できるのですから。

逆に「年間 10 万人以上の死亡」を事実として把握しつつ、何らかの理由で曖昧な規制の下にタバコ販売を許可しているのであれば、我が国は人命軽視の後進国ということになってしまいます。

いずれにしても、一方でタバコを売りながら、他方で喫煙者を蛇の生殺しのよう
に追い詰める現在の施策は、摩訶不思議で理解できません。「世界の潮流」を引き合
いに出されても、説得力がありません。

関心のない人たちには一笑に付されそうな、瑣末な事です。しかし私にとっては、政治への信頼に係わる極めて重い問題の一つであり、ひいては国内二千数百万人と
いわれる喫煙者すべてに共通の関心事でもあります。

そこで、来たる参院選に候補者を擁立なさる各党代表の皆様に率直なところを伺
いたいと考えました。国会でその大枠が決められる「喫煙環境施策」について、貴
党のお考えをアンケート形式で照会させていただきたく存じます。

ご多忙中恐縮ですが、どうぞ ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

貴党の「選挙公約」と読み合わせ、投票の参考にさせていただきます。

平成 22 年 6 月●●日

Go smoking 友の会

会長 佐藤 良一

喫煙環境施策についてのお考え

●●●●党 代表 ●●●● 様

該当するお考えの番号を○で囲ってください。

- 1, 早急にタバコを販売禁止にする。
- 2, 我が国独自でタバコの安全性を徹底検証してから結論を出す。
- 3, タバコは嗜好品なので、喫煙者と非喫煙者の共存を目指す。
- 4, 『健康増進法』等に則った現状の喫煙環境施策で問題ない。
- 5, 喫煙環境に関わる問題は社会問題に値しない。

(上記以外のお考え、補足等をお記してください)

ご協力ありがとうございます。

※ 集計結果は、私が主宰する「Go smoking 友の会」を介し公表させていただきます。また、ご回答を頂けない場合、“5, 喫煙環境に関わる問題は社会問題に値しない。”のお考えとして分類させていただきます事をご了承ください。

恐縮ですが、●●月●●日●●時までに FAX でご回答ください。

FAX : 03-@ @ @ @ — @ @ @ @